

# 令和3年度 政策（政策の柱）の評価について

## 1 目的

政策評価委員の知見の更なる活用を行い、政策の柱を対象とした評価を実施し、関連政策を総合的に点検・評価できる仕組みを構築することで、総合計画の進捗状況をより明確に表し、道政に関し道民への説明責任を果たす。（R3.2 施行状況等の点検結果）

## 2 評価の対象（「政策の柱（中項目）」21項目の内、委員が選定した7項目が対象（14中項目は次年度以降に実施））

※石井委員長は全体総括

政策の柱	総務	総政	環生	保福	経済	農政	水林	建設	企業	教育	警察	施策数	担当委員
安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進				5	1			1				7	武岡委員
豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承		1	2				1	3	1			8	渡部委員
環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築			2		1							3	村上裕一委員
新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	1	3	1		2		1		1			9	水島副委員長 葛西委員
海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展		3			2	1	1					7	村上愛委員
北海道の未来を拓く人材の育成	3	2	1							9		15	大賀委員 嘉藤委員
持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備		2						4				6	内田委員

## 3 評価方法

### ○ 総合判定

政策の柱	評価	政策の方向性	評価	施策	評価
中項目 (A)	概ね順調 (4.50)	小項目 (a)	概ね順調 (4.00)	施策 (1)	概ね順調 (4.50)
			小項目 (b)		順調 (5.00)
					施策 (3)
					施策 (4)

平均値

### ○ 委員評価の視点

①構成する施策の総合評価の状況（4段階評価） ②指標の達成状況・指標の適切さ ③取組内容の妥当性

### ○ 事前質問の実施

政策の柱調書作成 → 委員への事前説明 → 事前質問回収 → 質問への回答(各部局) → ヒアリングの有無確認

### ○ ヒアリング（必要に応じて実施 担当課 課長補佐級）

対象の政策の柱の概要説明(5分) → 担当課から評価結果等の説明(3分) → 委員からの質問(10分) → 総括(2分)

### ○ 評価結果

政策の柱毎に政策評価委員からの意見を整理し、対象となる施策に評価意見を付与

## 4 スケジュール（予定）

### 二次政策評価

